# 夢・モモ・ゆう・機関車後援会だより

NO. 15 2005·9·20

## デイサービス「ロコロコ」!

新しいデイサービス施設が完成しました。デイサービス「ロコロコ」です。 デーセンター機関車の利用者さんを主な対象とすることもあり、機関車を意味 する英語「locomotive」(ロコモーティブ)をもじった名称となりました。ユニットバスやトイレは利便性を考慮して二つずつ設置。またトイレや更衣室ごとに壁紙を変えて、雰囲気に変化を持たせました。





デイサービスロコロコ 〒534-0023 大阪市都島区都島南通1-4-7 TEL06-6927-2152 最寄駅 JR桜/宮駅 地下鉄都島駅

# 新夢飛行の完成!

念願の夢飛行増築工事です。エレベーターを設置し、2 階へのアクセスがスムーズになったため、"高い人口密度"が解消されました(3 階はオーナーの仕事場!)。1 階にはリサイクルショップもオープンです。しかし、これまでにない広いスペース(2階は約 150 ㎡!) にスタッフはやや戸惑い気味。今後はこのスペースでいかに活動内容を充実させていくかが課題となります。







☆協賛企業一覧☆~代金の2~3%が後援会に寄付されます。ぜひご利用ください!

大手ツアー含む旅行全般は「チューオーツーリスト」0721-56-2170→担当: 石丸さん 住宅新築・改修は「吉岡建設」 0726-21-0021→担当: 山本さん リフト等の車両改造は「ウェルビー」072-228-2501→担当: 田中さん

#### 「福祉の世界の言葉を使わないで」

毎日新聞学芸部記者 遠藤哲也

「こりゃ、変わった世界やな。話が分からんわ」。ぼくは新聞記者になって17年目になります。12年前、京都支局の大学担当になった時のことです。大学担当は文字通り、京都大や同志社、立命館など京都の大学の先生の「研究最前線」などを取材するのですが、これがはじめはとても手こず



りました。それまで事件・事故取材をする警察担当や市役所担当などを経験してきました。 役人や警察官の世界も、もちろん専門用語がありますが、一般の人を相手にする仕事です し、記者が尋ねてもそれなりに話は分かります。

しかし、大学の先生って、自分たちの世界の言葉でいきなり語り始めるのです。「それって、記者が予習してないんじゃない」とか言われそうですが、ぼくの頭の良し悪しはとりあえず横においてください。

宇宙物理学や西洋哲学などの中で今自分が取り組んでいる課題を、言葉をかみ砕くことなく、話し始める先生が多いことに驚きました。「コミュニケートをそもそも取る気がないのではないか」と感じることもありました。記者に対してだけでなく、他の専門分野の先生に対してもそうなのでしょう。学者の世界でもこれって問題になっていて、ある研究所にまつわるこんなエピソードを聞きました。

その研究所には、研究者が自分の部屋に行く前に必ず通るエントランスに、だるまスト



ーブを置きました。研究者は、ストーブを囲みながら、自分の専門分野に偏った言葉ではなく、異分野の人と話し合ううちに、その研究所の学際的研究が世界レベルになったということです。

なぜぼくが今回、こんなことを書いたかと言うと、「福祉の世界も同じようなものではないか」と感じることがあるからです。ぼくが障害者問題に関わるようになったのは、今小学5年になる娘が 10 年前

に、原因不明の障害を持って生まれてきたことがきっかけです。その日から医療者はもちろん、障害福祉の専門家にいろいろと話をうかがわせて頂いています。また個人的ではなく、取材でもさまざまな福祉関係者と話をします。

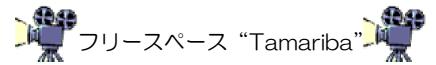
\$\$\deligned \text{And I all the control of the cont

教えられることばっかりなのですが、その中で、ただ残念なことといえば、交わされる 言葉が福祉関係者にだけ分かる、その中で分かり合えばよいというような感じを持つこと があることです。身体障害の関係者は身体だけ、知的障害は知的だけ、など障害種別もありますが、やはり「そもそも健常者の世界に分からせる意思が少ないのでは」と感じることが時々あります。

話はそれますが、電車の中で某経済新聞を必死で読んでいる会社員の姿をよく見かけます。ぼくなんかは、「この人ら、書いてあること、ほとんどわかってないやろな」と思ってしまいます。経済記事ってとても難解ですからね。書いている記者自身も、理解できていないことだってあるんですから。でもサラリーマンがなぜ必死で経済新聞を読むのか。読まないと損をすると思っているのでしょうね。経済を知らないのは自分にとって損だと。では、障害者問題を知らないと、自分にとって掲だと考える人がどれだけいるでしょう。

では、障害者問題を知らないと、自分にとって損だと考える人がどれだけいるでしょうか。経済問題はたとえ難しく書いても読んでくれるでしょうが、障害者問題は、本当にかみ砕いて伝えないと、誰も振り向いてくれないのではないでしょうか。福祉関係者にその取り組みがもっともっと必要なのでしょう。

実は、上に述べたことは、ぼく自身が自分に問いかけていることでもあります。さまざまな報道課題がある中で、障害者問題の報道の大切さをどう伝えるか、自分に問いかけながら、それでも前に進んでいきたいと思っています。



地域との交流の場、制度に拠らない活動場所を目指す"Tamariba"。映画鑑賞会は既に 20 作品を上映し、地域の子供たちにもお馴染みとなりました。地域の方々からの多数の出店があったフリーマーケットには多くのお客さんに来ていただきました。このほか、クラシック「サマーコンサート」(7月30日)や学習会「成年後見制度とは」(8月1日)、ワーキングホリデースタッフによる「一日韓国料理店」(同6日)なども催しました。施設行事も随時開催しており、今後も地域での存在感を増すよう活動を続けます。



弁護士による後見制度学習会



韓国人スタッフ企画の韓国料理店



ソプラノの歌声に皆うっとり

#### 「日本での経験」

ギー・クーター



グーテン ターク! (こんにちは)。私はドイツから来たギー・クーターです。2004年5月から夢飛行で働いています。自己紹介をする前に私が日本に来る前に何をしていたか、ということからお話したいと思います。

機械に関心があった私は工学と数学を専攻できる高校に進学しました。ドイツでは 19 歳になると「ナショナル・サービス」と呼ばれる社会貢献活動に参加す

る義務があり、参加者は「軍隊」と「社会福祉」の活動から一つを選ばねばなりません。 私は一年間空軍に入隊しました。その後、鉱業会社と製紙工場に機械工として働きました。 2001年、インド、ネパールに始まり、オーストラリアを経て 19ヶ月かけてアジアを旅行しました。

2004年2月に日本を訪れ、ドイツ語と英語を教える仕事をしました。当初、日本語が全く喋れませんでした。私の得意分野である機械関係の仕事に就きたいと考えていたのですが、教師以外の仕事は見つかりそうにありませんでした。

この通り、私の今までの人生は、ここ夢飛行での 9 ヶ月と全く違ったものでした。すべてが新しい、今までとは違った経験です。皆が何を話しかけてくれているか全くわからないながら、私は自分が歓迎されているのを温かい雰囲気のなかに感じました。利用者さんを知ることはもっと難しいことでした。彼らがなぜ私とお茶を飲もうとしないのか、ご飯を一緒に食べないのか、また、彼らは私に何をしてほしいのか。お互いを知るには時間がかかりました。

すぐに私は利用者さんが好きになりました。彼らはとても個性豊かで愉快な人々です。 彼らはどんなことにでも楽しさを見出せます。横に座り、一緒の時間を過ごすだけでいい のです。例えば指で床をはじいてやると喜び、笑顔で答えてくれる利用者さんもいました。 彼らが楽しんでいることが私の楽しみです。

普通のこと、でも彼らには出来ない事柄について考え、疑問に思うことがあります。「利用者さんは健常者をうらやましいと思っているのだろうか?それとも、長い間障害と共に生き、受け入れることができているのだろうか?」。私は時には健常者をうらやむこともあるのではないかと考えています。

WINGのスタッフはとても忍耐強く私に接してくれました。ありがとう。マイクで皆の前で話したり、歌うことを断り、少しギクシャクすることもありました。しかし、今までの人生でやりたくないことを強制させられることがなかったので仕方ありません。私が夕方仕事を終わった後もスタッフは夜遅くまで仕事をしています。時々間違いを犯し、私

は働いているというよりはスタッフの面倒事を増やしているのではないかと感じることもありました。

私のように日本語が話せない人間をなぜ雇うのか聞いたことがあります。「ルールを作らず、いろんな人のいろんな考えが集まるように」というのが私の教えられた答えです。夢飛行が工場のようにならないように、もっと人間味のある暖かな場所になるように。このことを理解するのに長い時間がかかりました。

ドイツでは仕事後、よほど仲良くない限りは同僚と一緒にいることはありません。 友人と家族を大切にし、仕事とプライベートを切り離すようにしています。 仕事関係以外の人と会うことは私にとって大切です。 スタッフの中には私が初めて仲良くなった外国人かもしれない。 もしかしたら私がスタッフと同じ



ことを同じように楽しめないことにがっかりしたかもしれない。でも、私は日本の生活を体験するために来たのであって、日本人になりにきたのではないから仕方がありません。 スタッフの皆は忍耐強いと言いましたが、それはこのような仕事にはとても大切なことだと思います。

利用者さんに対して私は少しのことしか出来ませんでした。食事のお手伝いや一緒にトイレにいったりお風呂に入ったり。でも、利用者さんの中には単に私と一緒にいることを楽しんでいる人もいました。とても良い思い出です。

利用者さんのご両親に私を信頼してくれてありがとうと言いたい。日本語が余り解らなかった私に子どもを預けることは難しかったのではないかと思います。

一年経った今、私はまだ余り上手に日本語が話せません。とても歯がゆいことで、様々な誤解があったりします。ただ、利用者さんをも同じ風に歯がゆいはずであり、それを理解するには良かったかもしれません。利用者さんはそれができるかどうかは関らず、もっと皆とおしゃべりがしたいに違いないから。

日本での一年は楽ではありませんでしたが、ここに来て、この仕事をしたことをうれ しく思います。ある時、もう少しでこの仕事をあきらめ、ドイツに早めに帰ろうかと思っ たことがありましたが、大槻さん(編集者注:スタッフ名)が私を応援し、説得しました。 そして、それは正しかったのです。それからは日本での滞在をもっと楽しむことが出来ま した。私自身そのものを受け入れてもらえるようになりました。今でもまだ間違いをおか すことはありますが、自身を来訪者ではなくスタッフだと思えるようになってきました。

9ヶ月で日本の何たるか、日本人たるも のを学べたように思います。

関係者の皆様に、「**お疲れ様です**。ど うもありがとうございます。」

(和訳:スタッフ江副陽子)

1976年生。フランス国境付近のドイツ・デューレン 出身。ワーキングホリデー制度を利用して 2004年2月に来日し、デーセンター夢飛行で皆と時間を共にしました。趣味はハイキングや機械いじり。 軍事史などにも関心を持っています。

### 21 世紀への航跡

#### ~夢・モモ・ゆう・機関車の歩み(4) 菅野眞弓

後援会の皆さんの多くは、「重症心身障害者って?」とお思いなのではないですか?簡単に、本当に簡単に、で申し訳ないのですが、重症心身障害者とは、重度の知的障害と重度の肢体不自由を併せ持つ人をいいます(きっと仲間のみんなにはそんな単純なものじゃない、って怒られそうなのだけど)。今回は、そういう利用者さんのエピソードを通して、少し重症心身障害者と呼ばれる人たちのことをお届けします。



最近、朝だけですけど、送迎車に乗っています。1時間ほどの短い時間ですが、いろいろ起こります。私たちの送迎車には(車そのものはワゴン車です)、車椅子が3台そのまま固定できます。前列に2台が横に並び、後列に1台という配置です。車内はとても狭く、特に前列の2台は密着しています。

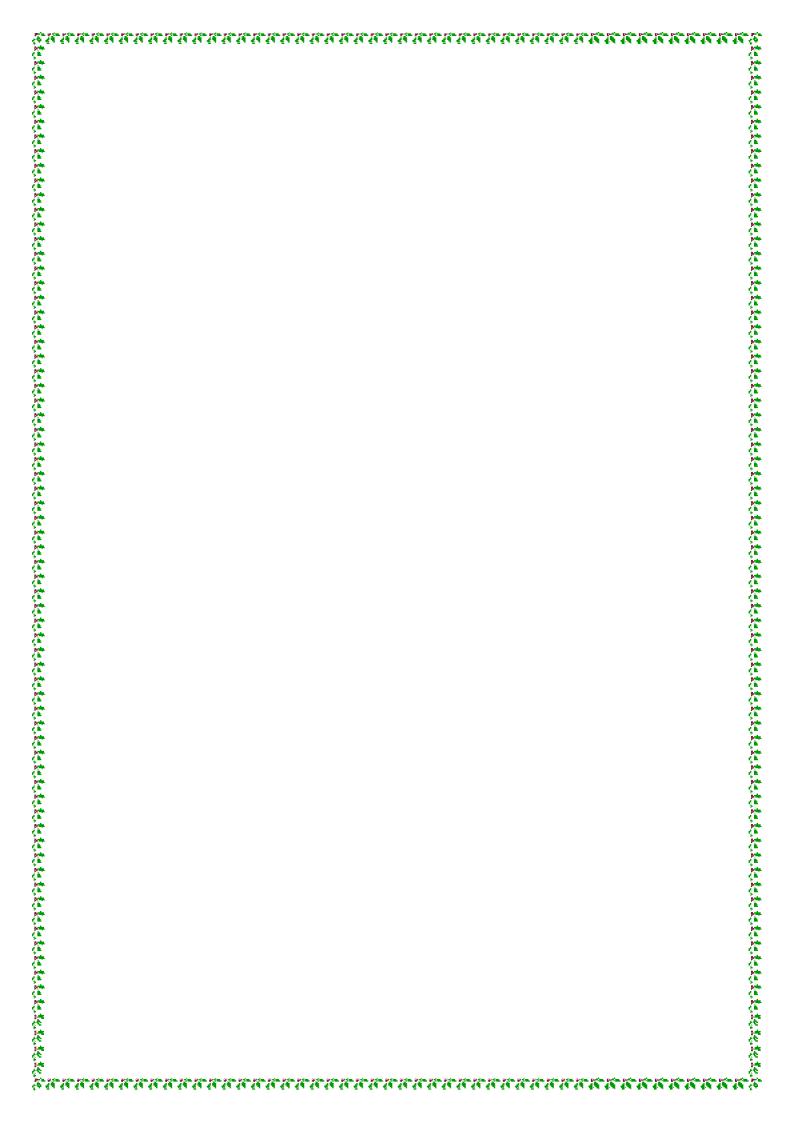
ある日のことです。前列に並んだS君とK君、二人ともまだ若く、体型的にも似た感じです。言葉による意思表示は困難ですが、隣の人のことは当然気になります。たまたま車に乗った途端、咳き込んだK君、なかなか咳が止まりません。すると、隣にいたS君、うるさかったのだと思います。怒りの表情を見せました。そこで同乗していた私はおもむろに「これは仕方ない、咳は誰もする」とS君に我慢してもらうことにしました。

少し不満そうな目を向けてはいましたが、概ね分かってくれたようでした。そんなやりとりの中、また咳き込みだしたK君、私はK君を見るより先に思わずS君を見てしまいました。そしてS君の目と私の目はばっちり一致、でもその瞬間S君は涼しげな目をして私から目をそらしました。しかもなぜか得意げ。それからはK君が何度咳き込んでもうるさがらずに通してくれたのです。

重心というとほとんど寝たきりで問いかけにも反応がないと思われがち。確かにS君、 K君、共に座位もとれませんし、言葉も話しません。でも手段はわずかですが、こうして



ちゃんとコミュニケイトできるのです。S君、K君のふたりとも、どう接すればいいのかわからない、と言われそうな人たちです。言葉で返せなければコミュニケーションがとれたといえないなら、コミュニケーションの取れない二人です。でも書いてきましたように、しっかり伝わっているのです。目が、表情が、言葉になり得るのです。そのためにはしっかり相手をみつめることが必要ですし、時間も必要です。そして最も大切なのは、どんなことでも"わかる"と信じて"話す"私たちの態度なのです。(つづく)





# 施行・旅行・旅行・旅行



いつもの見慣れた街を離れ、見知らぬ土地を旅する旅行は、利用者さんにと っても楽しみな行事。今年は4グループに分かれました。神戸旅行は5月に実 施。ホテルオークラに宿泊し、メリケンパークなどに足を運びました。また 9 月4~5日の白浜旅行は大きな温泉風呂(貸切!)にどっぷり身体を浮かべたり、 宴会を楽しみました。10月には、伊勢旅行、びわ湖旅行が控えています。







#### ありがとうございました!~~増築工事が完成した新夢飛行を7月22日、関係者

の方々に公開しました。当日ご参加いただいたのは、次の方々です(敬称略)。

荒川輝男・吉見あづさ(そうそうの杜) 李玉宰(大阪瑞光教会) 池中勝之(永和信用金庫天 下茶屋支店次長) 石丸昌義(チューオーツーリスト常務取締役) 武藤豊司・磯本味沙(旬二フ コ) 伊藤二郎(府立盲学校教諭) 犬伏一人(読売新聞記者) 遠藤哲也(毎日新聞記者) 小野田和子(光陽養護教諭) 柿久保浩次(パーティーパーティー) 田晴美(父母の会会長) 梶本達俊(㈱日本ヒューレットパッカード) 勝野俊一郎(毎日新聞記者) 岸桂子(毎日新聞 記者) 河野信哉(ジェイズマスクワイア) 近藤圭二(公認会計士) 斉藤真弓(医師) 迫 高谷直弘 (平野養護教諭) 菅洋子(父母の会副会長) 田順子(父母の会副会長) 高松邦明 (公認会計士) 竹内賢一(学校法人エール学園) 田中圭一郎・野村敏紘(셰ウェルビー) 辺正昭(西淀川養護教諭) 冨田俊哉(侑トミーコーポレーション) 冨田佳志(朝日新聞記者) 永田徹(弁護士) 中坊国喜(南大阪交通) 丹羽幸子(社会保険労務士) 羽柴修(弁護士) 原田哲(㈱ハラダ) 福田弘(㈱パルファシステムブレイン代表取締役) 山本裕信・福永巧治 (吉岡建設) 增田耕一(毎日新聞社会部長) 柳川敏美(市立聾学校教頭) 山中一正(淀川 栄光教会) 吉田肇(弁護士)

#### ご寄付・寄贈いただきました!

デイサービスロコロコのために寄付くださった方々 平野養護学校 孔恵琳 橋田国身 村山真知子 吉岡建設 奥津さんを通じて寄付くださった方々 光陽養護学校 ICL 技術事務所 吉野診療所 中島弘貴 菅野真弓 北川久子 幕内京子 西淀川養護学校 吉田講志朗 チューオーツーリスト Thank you

末永い支援をお願いします! 新会員の皆さん。敬称略



笹原徳行 大谷真也 大谷佳代子 浜名深雪 土井裕子 伊藤順子 長嶺博代 岸洋子 荒木裕子 飯田淑子 蔵内寿市 蔵内末子 城戸智美 吉田道雄 吉田敏子 吉田真知子 大畑典子 伊藤隆博 西沢武則 安田ひとみ 坂本貞子 首藤浩 中川一男 野中伸英 末本範子 西山和子 川辺洋子 岡田好功 伊藤恭子 中村尚子 武内計二 高井靖明 赤阪幸江 関戸栄子 澤田加津子 太田晴美 岩本清 山口勝蔵 浅井美和 福田知恵子 村井輝光 三和宏行 薮田一男 屋良早百合 高夘茂 田端悦子 高夘富榮 内間洋子 **潜口洋子** 麻埜淳子 清水洋子 羽白育子 (有) ニフコ 宮田和子 原順子 西田フミ子 池田美恵子 森智子 紀ノ国信作 平井善丸 藤井五月子

#### ご継続ありがとうございました! 会員継続の皆さん。敬称略

勝山欣哉 宇都宮京子 仲地弘 太田徳子 橋田恵美子 杉田マリ 椎葉忠之 黒川紀夫 村田紀子 松田鈴代 小角隆 伊藤真美 山内鉄夫 喜多庸雄 工藤ひとみ **鲁**井浩司 神埼真理子 山内弘子 岩田昌代 石原郁子 長尾浩-中野順子 原田恵子 坂口佳代 奥津矩男 酒井佐和子 竹岡末子 宮口笑子 高橋卓 高津由之 三井弘 齋藤治 太田勅正 松井順子 島森きみ子 佐々木直子 吉村英子 玉城初子 中川直子 国田淳子 貫野旬子 西田淳 楠本恵亮 井浪淳夫 奥野吉清 吉本弘 瀬戸恵里子 浅井久子 天野大三郎 浅井初美 進藤多代 福井一弘 田辺美加 中西亜紀子 大原湍 筒井恵美子 田中光代 柳川敏美 田里義宣 岩戸美津江 小林--Ξ 小林すづ 朴時夫 平岡睦子 前田賢治 加藤3-セツ(株) 加藤世里子 斎藤雅子 光野浜子 小林雄作 酒井伸子 山中美也子 八谷秀孝 藤田洋士 友田洋子 高橋博子 小佐田茂博 有尾雪江 奥田裕子 藤本雅大 秋山晃也 秋山恵子 龍井富士雄 南部信子 前垣朱実 上中登茂子 永野敏 山本裕信 市村芳美 山崎康子 前垣光義 丹羽幸子 伊藤絃 清水みどり 松本興子 伊藤佳代 津田有子 八木敏子 平田清子 田川香 I-ルネットワーク専門学校 营野加建夫 田中弘子 向井万里子 菅野裕史 岸田泰子 朝倉裕子 岡本潤和 山之内春子 安田邦史 今宿幸男 出島民子 大井知子 五味侑子 筑紫歳子 夏川町子 石川知樹 立花茂 木村朋毅 花田幸雄 橋田國身 橋田恵美子 根田由美子 今北しづ子 岡田満喜子 心光直人 光島由美子 橋田龍志 山口宗一 山下淑子 泉谷浩美 吉田肇 福井克次 平田美子 葛川久美子 金澤真理子 飯野裕子 薮内資子 有尾克ひこ 有尾かほる 薮内朝吉 佐藤宣雄 神童美代子 橋田菜穂 青木フミ 三井忠 秋田雅伸 森下浩次 脇田顕辞 江上輝明 米斤幸穂 清水洋子 山本春代 小林一三 小林すづ 米津勝 木谷勝美 橋田旨人 岡力ネ子 長岡千代子 今中正己 山地はるみ 石原郁子 末次貞子 石川幸佑 石川豊 山崎陽子 山崎正則 岡田啓子 堅田順 浅井義行 山川瑠美 谷川泰治 山崎圭三 米津節子 石田豪 岡村恵子 安藤まゆみ 石田公徳 石田淑子 田中保治 井浪克己 斎藤和子 泉谷美千子 野田比奈 山地雄平 松川道子 万代義彦 服部裕子 厨達夫 乾勤 葛川香澄 谷川予枝子 中恵美子 岡田和子 沢辺みかよ 平田雅美 南部謙二